



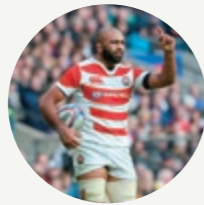
15

ヒヤダイン
Hyadain
音楽クリエイター



14

山崎 貴
Takashi Yamazaki
映画監督・脚本家



13

リーチ・マイケル
Michael Leitch
ラグビー日本代表



12

入山章栄
Akie Iriyama
早稲田大学大学院教授



11

西堀耕太郎
Kotaro Nishibori
日吉屋五代目



05

荒井朋子
Tomoko Arai
千葉工業大学
惑星探査研究センター



04

加藤真平
Shinpei Kato
Tier IV会長



03

小林久隆
Hisataka Kobayashi
米国立がん研究所
主任研究員



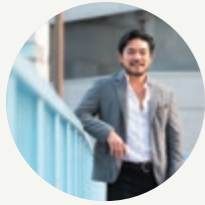
02

藤野道格
Michimasa Fujino
ホンダエアクラフト
カンパニー社長



01

高崎義一
Yoshikazu Takasaki
ドレミングホールディング
CEO



20

牧浦土雅
Doga Makiura
起業家



19

アイリーン・
ヒラノ・イノウエ
Irene Hirano Inouye
米日カウンシル会長



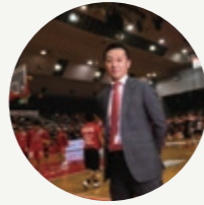
18

細谷雄一
Yuichi Hosoya
慶應義塾大学教授



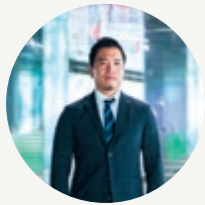
17

川添 愛
Ai Kawazoe
小説家



16

島田慎二
Shinji Shimada
千葉ジェッツふなばし社長



25

中原貴之
Takayuki Nakahara
東芝エネルギーシステムズ



24

佐々木 淳
Jun Sasaki
悠翔会理事長



23

工藤勇一
Yuichi Kudo
麹町中学校校長



22

福森大喜
Daiki Fukumori
インターポール
サイバー捜査分析官



21

奈良岡聰智
Souchi Naraoka
京都大学大学院教授



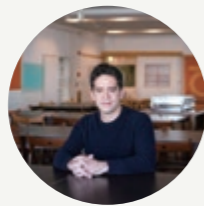
30

塩沼亮潤
Ryujun Shionuma
大阿闍梨



29

酒井 優
Masaru Sakai
毛呂山町役場主任



28

丹埜 倫
Ron Tanno
R.project代表



27

エリオット・コンティ
Elliot Conti
グローバル愛知事務局長



26

荒木健太郎
Kentaro Araki
気象庁研究官



10

実取義洋
Yoshihiro Mitori
農家



09

森岡 毅
Tsuyoshi Morioka
メーカー



08

宮崎知子
Tomoko Miyazaki
元湯陣屋女将



07

桜井一宏
Kazuhiro Sakurai
旭酒造社長



06

山田敏夫
Toshio Yamada
ファクトリエ代表

PIONEERS OF THE NEW AGE

創刊30周年記念インタビュー 平成から令和へ 新時代に挑む30人

元号が令和へと変わり新たな時代を迎える。平成が幕を開けた年に創刊した本誌が、さまざまな分野で課題に挑み、新時代を牽引していく30人を紹介しよう。(文中敬称略)

新

しい元号は『令和』
であります」。4月
1日午前11時半過
ぎ、菅義偉官房長官

が新元号の記された額を示したのを
機に、街行く人たちは新しい時代の
到来を意識している。平成に次ぐ令
和の時代は、どのような経済を迎え
ることになるのだろうか。

いつもは笑顔をみせる黒田東彦日
銀総裁が、3月15日の記者会見では
心なし元気がなかった。日銀はこの
日、景気の総合判断は据え置きつつ、
輸出と生産について「弱めの動き」
へと判断を下方修正。期待を寄せて
いた春闘も、電機や自動車など大手
の賃上げは、前年実績を下回るとこ
ろが目立った。令和を前に、日本経
済は花曇りのような視界不良に入っ
ている。

日銀に続き政府も3月20日には、
輸出と生産の弱さを認めた。2月ま
での「景気は緩やかに回復している」
との判断を、「景気は、このところ
輸出や生産の一部に弱さもみられる
が、緩やかに回復している」へと変
えたのだ。日銀と同様に「緩やかな
回復」との判断を維持しつつ、輸出

Global Economy

令和のはじまり「花曇り」景気 道標は忖度なき経済指標

令和を前に、日本経済が視界不良に陥っている。政府の景気判断も強気なスタンスを崩し出した。先行きが不透明なときこそ、街角の景気を反映する指標にしっかりと目を向けるべきだ。



滝田洋一 Yoichi Takita 日本経済新聞社編集委員・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」解説キャスター

1981年慶應義塾大学大学院卒。金融部、チューリヒ支局、米州総局編集委員などを経て、2011年より現職。08年度ポーン・上田記念国際記者賞受賞。新著に『世界経済 チキンゲームの罠』（日経プレミアシリーズ）。

や生産の弱さを洪々認める「入れ子
細工」のような認識を示す。

▼情報関連材を中心に中国向けの輸
出が弱含んでいる。

▼輸出の鈍化を背景に、企業の生産
も一部に弱さがみられる。

政府も日銀も弱めとか弱含みとい
う表現を好む。だが2月の貿易統計
では、中国向けの電気機械輸出は前
年同月比10・8%減。うち半導体等
電子部品は同19・5%減と2割近く
落ち込んだ。1月も中国向けの電気
機械輸出は同20・9%減だから、1
〜2月をならしても相当な減少であ
る。1割から2割の落ち込みを、普
通は弱含みとは言わない。

世に「月例文学」という。政府の
月例経済報告のまどろっこしい表現
を揶揄したものだ。政府・日銀が多
用する弱含みという言い回しにこ
そ、文学という言葉がピッタリ当て
はまる。国会の論戦もコンマ以下の
「統計不正」に時間を労するなら、
足元の景気判断にもっと焦点を当て
るべきなのだ。

政府の景気判断の歯切れが悪いの
は、今年10月の消費税引き上げを控
えて、あまり悪い面を認めたくない